

2022年2月10日

# 2022年3月期 第3四半期 決算説明補足資料

センサで世界を測る、未来を拓く。

## OHIZUMI

株式会社大泉製作所

## 【第3四半期実績】

- 空調事業の増収により車両生産減影響をカバー
- 材料高騰や収益認識基準適用の影響等により収益性が低下

## 【第3四半期累計業績】

- 期初からの需要増と空調事業の増収により期間累計売上\*を更新
- 通期予想に対し、各段階利益は80%超の進捗

## 【2022年3月期通期業績予想】

- COVID-19や半導体不足等の影響に鑑み、通期予想は据え置く

\* 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、過年度実績との比較のため、会計基準適用前(以降「旧会計基準」と表記)の値で算定、記載しております。

単位：百万円

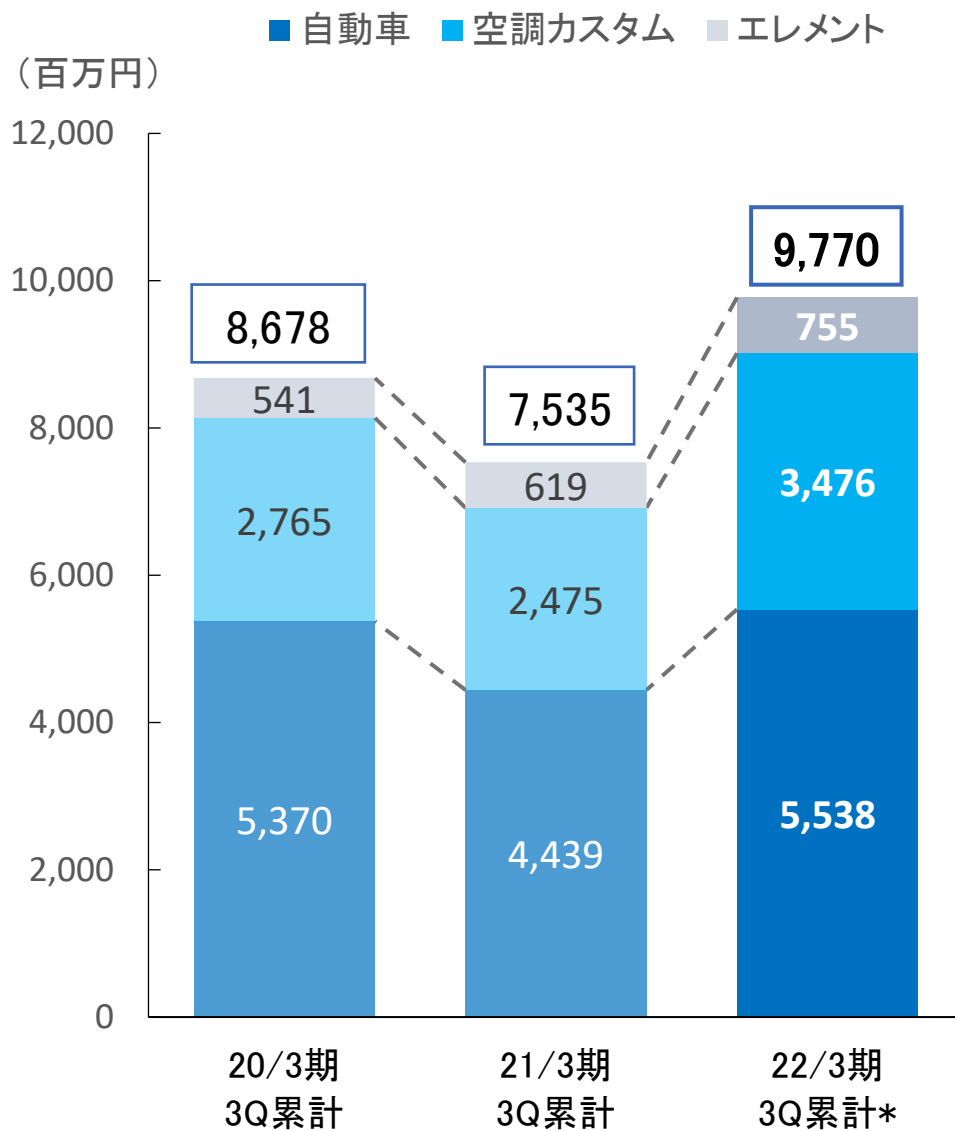
|                | 2020/3期<br>3Q(累計) |        | 2021/3期<br>3Q(累計) |        | 2022/3期 3Q(累計) |        |                |                |
|----------------|-------------------|--------|-------------------|--------|----------------|--------|----------------|----------------|
|                | 実績                | 売上高比   | 実績                | 売上高比   | 実績             | 売上高比   | 2020/3期<br>3Q比 | 2021/3期<br>3Q比 |
| 売上高<br>(新会計基準) |                   |        |                   |        | 8,869          |        | 102.2%         | 117.7%         |
| 売上高<br>(旧会計基準) | 8,678             | 100.0% | 7,535             | 100.0% | 9,770          | 100.0% | 112.6%         | 129.7%         |
| 営業利益           | 376               | 4.3%   | 62                | 0.8%   | 466            | 4.8%   | 123.9%         | 746.8%         |
| 経常利益           | 323               | 3.7%   | 41                | 0.6%   | 402            | 4.1%   | 124.4%         | 959.7%         |
| 当期純利益          | 236               | 2.7%   | △3                | —      | 274            | 2.8%   | 116.2%         | —              |

\* 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、2022年3月期第3四半期実績は有償支給取引に係る売上高の純額表示等を適用した後の金額(「新会計基準」と表記)で公表しております。

\* 2022年3月期第3四半期実績の売上高比は旧会計基準により算定した売上高に対する比率を記載しております。

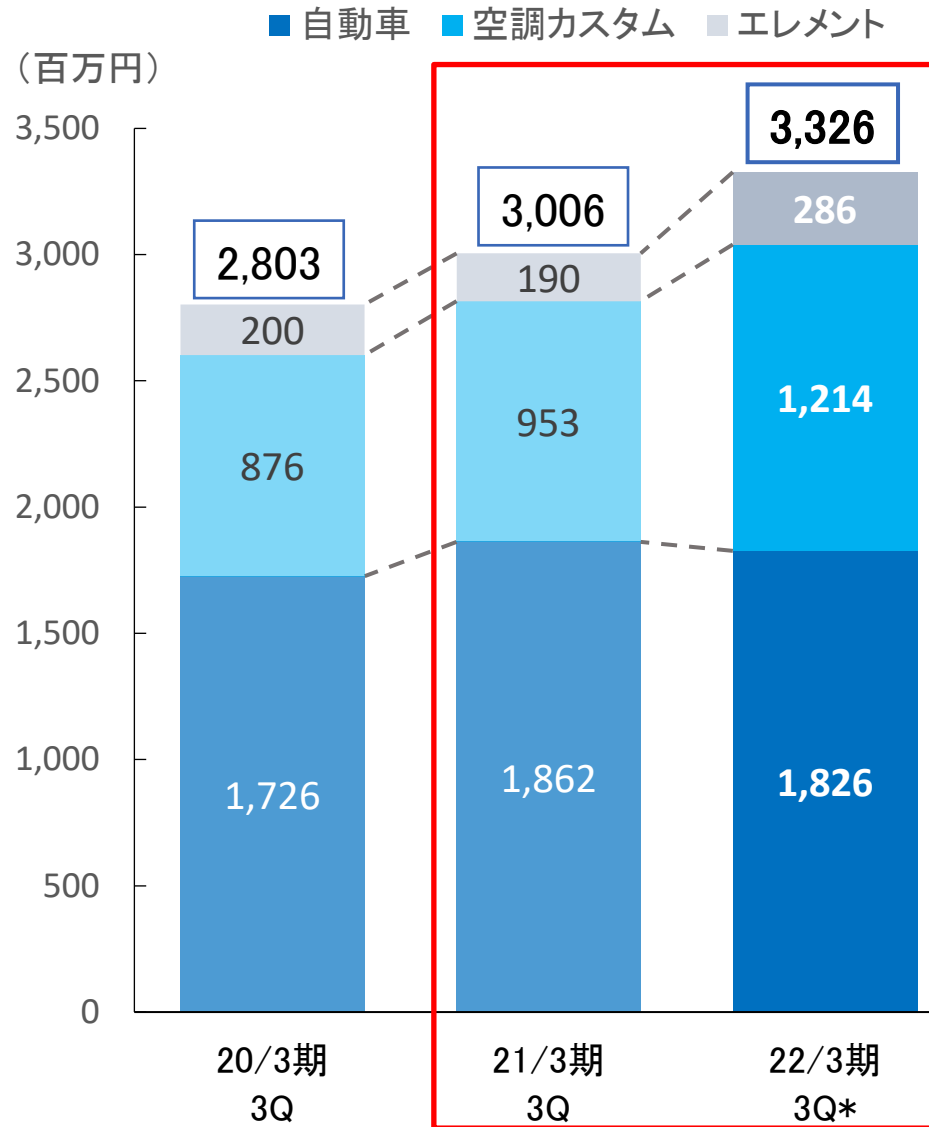
\* 2021年3月期以前の実績は、旧会計基準により算定した値を記載しております。

# 第3四半期累計 事業別売上高



| 事業      | 20/3期 3Q累計比* (百万円) | 増減率*   | 21/3期 3Q累計比* (百万円) | 増減率*   |
|---------|--------------------|--------|--------------------|--------|
| 全体      | + 1,092            | +12.6% | + 2,235            | +29.7% |
| 自動車     | + 167              | +3.1%  | + 1,098            | +24.8% |
| 空調カスタム  | + 711              | +25.7% | + 1,000            | +40.4% |
| エlement | + 213              | +39.5% | + 136              | +22.0% |

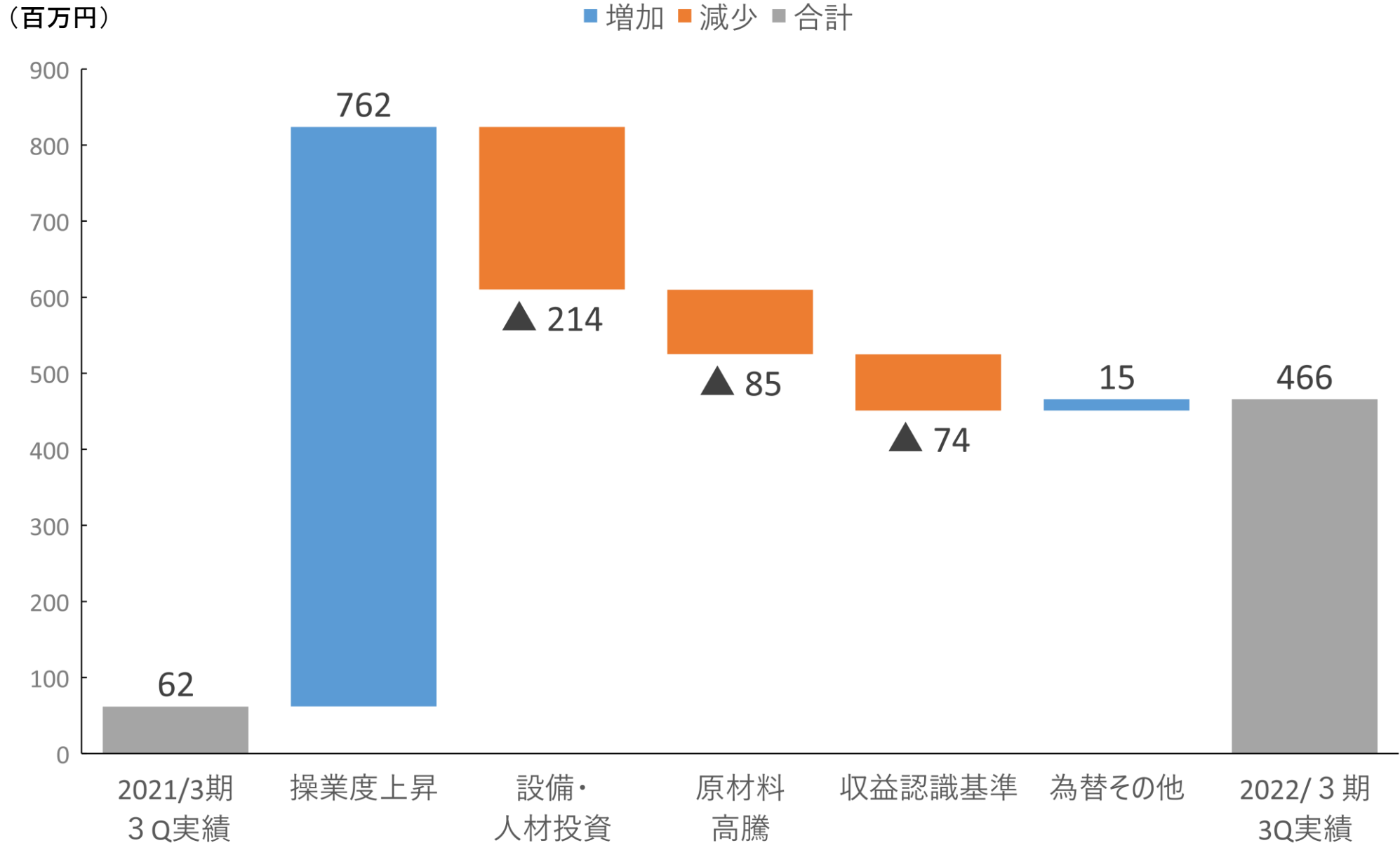
\* 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、過年度実績との比較のため、2022年3月期第3四半期実績及び過年度同期比、増減率は旧会計基準による値で算定、記載しております。



| 事業         | 前年同期比*<br>(百万円) | 増減率*   | コメント   |
|------------|-----------------|--------|--|
| 全体         | + 319           | +10.6% | ●半導体不足による車両生産減影響を受けるも、空調事業の増収でカバー  |
| 自動車        | ▲ 36            | ▲2.0%  | ●既存品は半導体不足の影響を受け、前期後半からの回復が鈍化<br>●電動化領域は量産開始により前年同期比165%                         |
| 空調<br>カスタム | + 261           | +27.4% | ●空調用は巢籠需要の継続や環境保全に向けたヒートポンプ需要が拡大。<br>●拡販による顧客内シェアアップ及び新規採用等により増収<br>●工作機市場の好調が続く |
| エレメント      | + 95            | +50.0% | ●既存品は産機用や医療用の需要が増加<br>●光通信用はFTTH向けの好調やシェア拡大により前年同期比倍増                            |

\* 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、過年度実績との比較のため、2022年3月期第3四半期実績及び前年同期比、増減率は旧会計基準による値で算定、記載しております。

# 22年3月期第3四半期累計 営業利益増減



- 各段階利益は80%超の進捗、COVID-19や半導体不足等による影響が不透明なため、現時点においては通期予想は据え置く。

単位：百万円

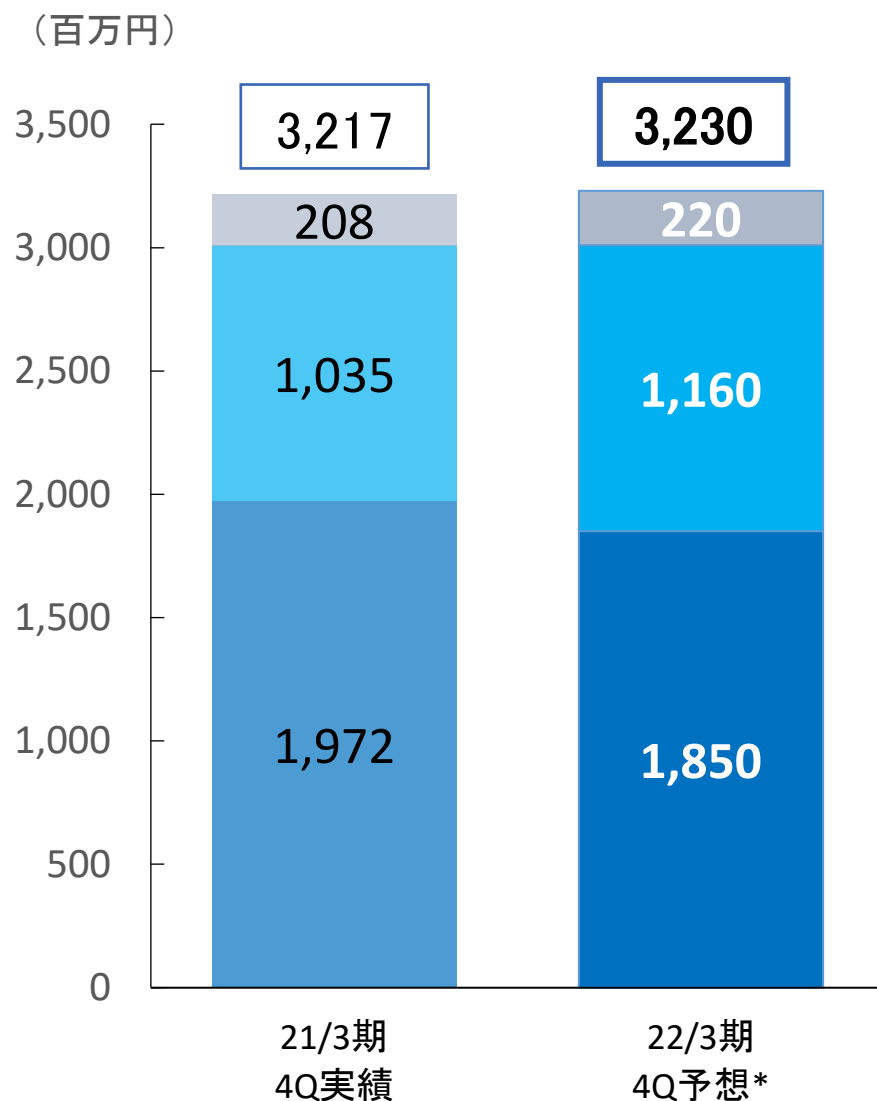
|                | 21年3月期 |        | 22年3月期 |        |       |        |       |
|----------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|
|                | 実績     | 売上高比   | 予想     | 売上高比   | 3Q実績  | 売上高比   | 進捗率   |
| 売上高<br>(新会計基準) |        |        | 11,850 | 100.0% | 8,869 | 100.0% | 74.8% |
| 売上高<br>(旧会計基準) | 10,752 | 100.0% | 13,000 |        | 9,770 |        | 75.2% |
| 営業利益           | 314    | 2.9%   | 550    | 4.6%   | 466   | 5.3%   | 84.8% |
| 経常利益           | 289    | 2.7%   | 500    | 4.2%   | 402   | 4.5%   | 80.6% |
| 当期純利益          | 224    | 2.1%   | 330    | 2.8%   | 274   | 3.1%   | 83.2% |

\* 22年3月期予想は2021/11月の公表値を記載しております。

\* 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、2022年3月期の業績予想は有償支給取引に係る売上高の純額表示等を適用した後の金額(「新会計基準」と表記)で公表しております。

# 22年3月期 第4四半期売上高予想

■ 自動車 ■ 空調カスタム ■ エlement

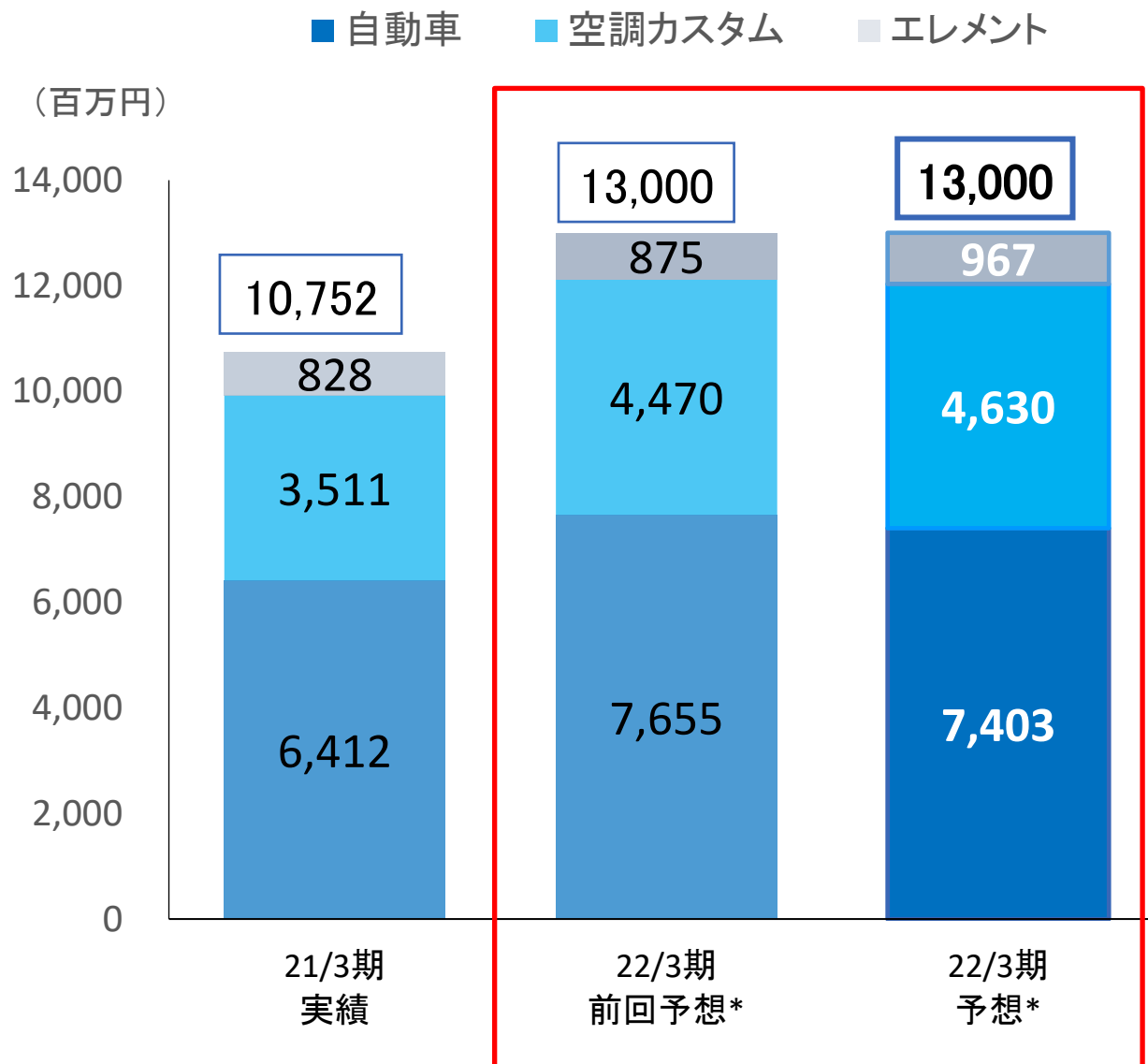


| 事業         | 前年同期比<br>(百万円) | 増減率*   | コメント   |
|------------|----------------|--------|--|
| 全体         | + 12           | +0.4%  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●3Qトレンドの継続を見込む。</li> <li>●半導体不足による自動車事業の減少を好調な空調事業でカバー</li> </ul>               |
| 自動車        | ▲122           | ▲6.2%  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●既存品は車両生産減により減少、23/3期での回復を見込む</li> <li>●電動化領域は数量増加により半導体不足影響を吸収、増収見込</li> </ul> |
| 空調<br>カスタム | + 124          | +12.0% | <ul style="list-style-type: none"> <li>●空調用は主要顧客向けの売上増</li> <li>●工作機向けも市況好調が継続</li> </ul>                              |
| Element    | + 11           | + 5.3% | <ul style="list-style-type: none"> <li>●光通信用はFTTH向けの増加と新規採用等により165%の見通し</li> </ul>                                     |

\* 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、過年度実績との比較のため、22年3月期第4四半期の予想及び前年同期比、増減率は旧会計基準による値で算定、記載しております。



# 22年3月期通期売上高予想



| 事業         | 前回予想比<br>(百万円) | 増減率*    |
|------------|----------------|---------|
| 全体         | 変わらず           | —       |
| 自動車        | ▲252           | ▲3.3%   |
| 空調<br>カスタム | + 160          | +3.6%   |
| エレメント      | + 92           | + 10.5% |

\* 22/3期前回予想は、2021/11月の公表値を記載しております。

\* 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、過年度実績との比較のため、2022年3月期予想及び前回予想比、増減率は旧会計基準による値で算定、記載しております。

## 注意事項

この資料に掲載されている、株式会社大泉製作所の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得ら  
れた株式会社大泉製作所の経営者の判断に基づいており、内容の正確さについては細心の注意を  
払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負  
うものではありませんのでご了承ください。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行  
われるようお願いいたします。

センサで世界を測る、未来を拓く。

# OHIZUMI

IR お問い合わせはホームページからお願いします。

<http://www.ohizumi-mfg.jp/contact/>